

沖縄海邦銀行

第71期 営業の中間ご報告

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで
(2017.9 ミニディスクロージャー誌)



OKINAWA
KAIHO

当行の概要 (平成29年9月30日現在)

創 立	昭和24年5月1日
設 立	昭和39年4月2日
資 本 金	45億37百万円
本 店	〒900-8686 沖縄県那覇市久茂地2丁目9番12号 電話番号 (098) 867-2111 (代表)
店 舗 数	50店舗 (うち出張所2店舗)
従 業 員 数	920名
株 主 数	2,309名
ホームページアドレス	https://www.kaiho-bank.co.jp

CONTENTS (目次)

ごあいさつ	… P 1
トピックス	… P 2
CSR・地域貢献活動	… P 6
業績ハイライト	… P 8
第71期中間財務諸表(単体)	… P 10
第71期中間財務諸表(連結)	… P 11
役員、株式のご案内	… P 12
かいぎんのネットワーク	… P 13



代表取締役頭取 上地 英由

皆さまには、平素より私ども沖縄海邦銀行をお引き立ていただき、厚く御礼申し上げます。

ここに平成29年度(71期)9月中間期の営業の概況と決算状況についてご報告申し上げます。当行について、より一層のご理解をいただくための参考となれば幸いに存じます。

平成29年度上半期の国内景気につきましては、企業収益が改善するなかで、設備投資が緩やかな増加基調となったほか、個人消費が雇用・所得環境の着実な改善を背景に底堅さを増していることなどから、全体として緩やかな回復基調が続きました。

県内の景気は拡大しています。観光関連では、航空路線の拡充などにより、入域観光客数が国内客、外国客とも前年を上回り好調に推移し、主要ホテルの客室稼働率も前年を上回りました。個人消費については、県内の人口増加、観光需要などを背景に堅調に推移しており、建設関連についても公共工事、住宅関連とも堅調な動きとなりました。雇用面では、有効求人倍率が3ヶ月連続で過去最高を記録(平成29年4月～6月)するなど改善する一方で、企業において人手不足感が強まるなど課題もみられます。先行きにつきましても、県内の人口増加と好調な観光関連を背景に、引続き拡大していくとみられています。

金融機関においては、低金利の状況が続くなか、金融機関の競争激化により、取り巻く環境は厳しさを増しています。地域金融機関として、お取引先企業の事業性評価などの取組みによる金融仲介機能の発揮やお客さまの安定した資産形成に向けた良質なサービスの提供など、果たすべき役割も重要性を増しています。

このような環境のもと、当行は、第15次中期経営計画「革新(INNOVATION)」(計画期間:平成29年4月～平成32年3月)の取組みを開始しました。「お客さまのニーズに応えた良質な金融サービスの提供」「安定した経営基盤の確立」「人と組織の強化」の3つの基本方針の下、お客さまの課題解決に向けたソリューション提供と円滑な資金供給によるお客さま支援に重点を置いたビジネスモデルへの変革により、「お客さまの成長・発展」と「当行の安定した経営基盤の確立」という「共通価値の創造」に取り組みます。

当行は、これからも地域に根ざしたより良い金融サービスを提供し、「お客さまのお役にたてる一番身近な銀行を目指してまいります。

皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成29年12月

トピックス

よろず支援拠点活用塾を開催

平成29年4月1日(土)、沖縄県中小企業家同友会との包括連携協定の取組みとして、「よろず支援拠点活用塾」を開催しました。

「よろず支援拠点」は、国が設置した中小企業・小規模事業者の様々な悩みに応える相談窓口です。無料で何度でも相談することができ、公的支援機関などとも連携しています。

経営課題の解決に、よろず支援拠点を広く活用してもらおうと開催した今回の活用塾には、多くの沖縄県中小企業家同友会会員企業のみならずと当行全営業店長が参加しました。よろず支援拠点の7名のコーディネーターによるテーマ別のグループ相談会では、経営課題に対するアドバイスなどが行われました。

当行は、外部の専門機関とも連携しながらお客さまの課題解決、経営支援に取り組んでいきます。



第5回 沖縄のみりよく(味×観)発信商談会を開催

平成29年6月1日(木)・2日(金)、沖縄海邦銀行、琉球銀行、コザ信用金庫の3金融機関合同による「第5回 沖縄のみりよく(味×観)発信商談会」を開催しました。

1日に開催された商談会には、国内外から食品分野のバイヤー21社を招き、県内出展企業との活発な商談が行われました。

観光分野では、海外ブロッガー4名と県外のバイヤー1社が県内の観光事業者の施設を実際に視察する「視察会」を2日間に亘り開催しました。

今後もお取引先企業の販路拡大支援に全力で取り組みます。



第2期 かいぎん創業支援塾を開催

平成29年7月6日(木)～7月27(木)の全5回の日程で第2期「かいぎん創業支援塾」を開催しました。公認会計士や社会保険労務士による会計・税務、労働保険の基礎知識や、企業経営者(本講座の1期生)による創業体験談のほか、最終日には受講生による事業のプレゼンテーションを実施しました。

当行は、これからも創業に必要なノウハウの提供を通じて、創業を目指すお客さまの支援に取り組んでいきます。



かいぎんビジネス倶楽部講演会&交流会開催

平成29年9月7日(木)、かいぎんビジネス倶楽部講演会&交流会を開催しました。スポーツジャーナリストの二宮清純氏による講演会や交流会に350名を超える会員のお客さまにご参加いただき、大盛況となりました。



IR報告会開催

当行の活動内容や経営実績を説明する「IR報告会」を開催しました。

平成29年7月3日(月)の八重山地区に続き、7月4日(火)に宮古地区、7月6日(木)北部地区の3か所で開催し、株主のみなさまをはじめ、多くのお客さまにご参加いただきました。



トピックス

八重瀬支店オープン

平成29年7月18日(火)、八重瀬町役場向かいに「八重瀬支店」がオープンしました。

お客さまが気軽に来店できるカフェのような雰囲気の店内には、プライバシーに配慮した相談コーナーを設け、お客さまにゆっくりとご相談頂けます。

所在地 八重瀬町字伊覇54番地3 1F-1
TEL 098-851-5340
営業時間 月～金 9:00～15:00
ATM稼働時間 月～金 7:00～22:00
土日・祝祭日 8:00～22:00



大湾支店&お客さま相談プラザ大湾オープン

平成29年8月9日(水)、読谷村のサンエー大湾シティ内に「大湾支店」、「お客さま相談プラザ大湾」がオープンしました。

明るく開放的な店内に、ゆったりとくつろげるソファーや個室の相談ブースを設けています。

「お客さま相談プラザ大湾」は、平日は夜9時、休日は夕方6時まで営業しており、お買いものついでにお気軽にご利用頂けます。

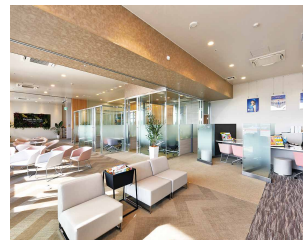
大湾支店

所在地 読谷村字大湾343番地(サンエー大湾シティ内)
TEL 098-987-8420
営業時間 月～金 9:00～15:00
ATM稼働時間 9:00～22:00



お客さま相談プラザ大湾

所在地 同上
TEL 098-987-8430
0120-61-8560(フリーダイヤル)
営業時間 月～金14:00～21:00 土日・祝祭日10:00～18:00
(12/31～1/3は休業となります)



お客さま本位の業務運営に関する取組み方針

当行は、「地域密着」「健全経営」「人材育成」という経営理念の下、目指す姿として「お客さまのお役にたてる一番身近な銀行」を掲げ、お客さまの安定的な資産形成に向けたサービスの提供に取り組んでまいりました。

これまでの取組みをさらに改善・進化させ、お客さまへ最適なコンサルティングサービスを提供するため、「お客さま本位の業務運営に関する取組み方針」を策定・公表いたします。

また、本方針に基づく取組み状況を定期的に公表するほか、より良い業務運営を実現するために見直しを行います。

1. お客さまの最善の利益の実現

- (1)お客さまの最善の利益に資する「お客さま本位」を第一義とする企業文化の醸成、定着に努めます。
- (2)高い専門性と職業倫理をもってお客さまのニーズに適した商品やサービスを提供し、お客さまの最善の利益を追求します。
- (3)お客さまの利益が不当に害されることの無いよう、利益相反の恐れがある取引について、適切な管理に努めます。

2. お客さまに最適なコンサルティングの実践

- (1)お客さまの金融商品に関する知識・投資経験、資産の状況などの正確な把握に努め、お客さまの安定的な資産形成に資する、ふさわしい商品・サービスを提案いたします。
- (2)商品・サービスの提案にあたっては、商品の内容・リスクなどについてお客さまにご理解いただけるよう、分かりやすく丁寧に説明いたします。
- (3)商品をご購入いただいた後もお客さまの運用状況や市場動向など投資判断に資する情報を提供するなど、アフターフォローの充実に努めます。
- (4)サービスの対価としてお客さまにご負担いただく手数料についても、分かりやすく説明を行い、商品毎の手数料の透明性向上に努めます。

3. お客さまに最適なコンサルティングを行うための体制整備

- (1)お客さまにより良いサービスが提供できるよう、職業倫理の醸成や専門知識の習得など、コンサルティング機能強化に向けた人材育成に取り組めます。
- (2)お客さまに最適なコンサルティングが行われるよう、営業店や職員の業績評価の見直しや人事考課への適切な反映に取組みます。

CSR・地域貢献活動

みどりの講演会

毎月、郷土のみどりについて、森林資源や園芸など多彩なテーマで「みどりの講演会」を開催しています。昭和49年から40年以上にわたり開催しており、開催回数は500回を超えています。講演会参加者には苗木の無料配布を行っており、これまで6万本以上を配布しました。

開催場所：沖縄海邦銀行本店

開催日：原則毎月第4金曜日 午後3時より



配布した苗木の例
(写真は、あじさい)



「チーム美らサンゴ」への参加

平成17年より「チーム美らサンゴ」に参加し、サンゴ礁の再生・保全活動に取り組んでいます。

平成29年6月17日(土)に恩納村万座ビーチ沖合にて行われたサンゴ植え付け活動に当行職員も参加しました。



かいぎんミュージックサークル

平成29年5月3日(水)「沖縄南部療育医療センター」、8月26日(土)「社会福祉法人残波かりゆし会元気サポートウェルよみたん」において、かいぎんミュージックサークルによるボランティアコンサートを開催しました。当行SNSキャラクターかいホーくんの登場やマジックショーも行われ、楽しいひと時を過ごしました。



沖縄南部療育医療センター



元気サポートウェルよみたん

献血活動

平成29年4月3日(月)、9月14日(木)に当行本店駐車場において献血活動を行いました。社会貢献の取組みとして日本赤十字社と連携し実施しており、毎回、多くの職員が献血を行っています。



全島エイサーまつりへの協賛

平成29年9月15日(金)～17(日)、沖縄の夏の風物詩である「第62回沖縄全島エイサーまつり」が沖縄市コザ運動公園で開催されました。伝統芸能の承継発展と地域活性化などの趣旨に賛同し、協賛金を贈呈しました。



業績ハイライト

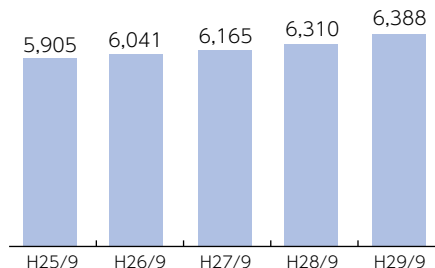
預金

6,388億円

預金残高は、公金預金は減少したものの、個人預金、法人預金が増加したことにより、前年同期比78億33百万円増加の6,388億42百万円となりました。

預金期末残高

(単位:億円)



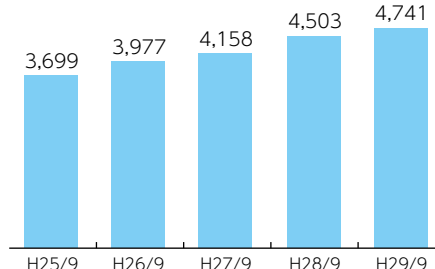
貸出金

4,741億円

貸出金残高は、不動産業や小売業などの事業性貸出が増加したほか、消費者ローンも好調に推移したことなどから、前年同期比238億4百万円増加の4,741億15百万円となりました。

貸出金期末残高

(単位:億円)



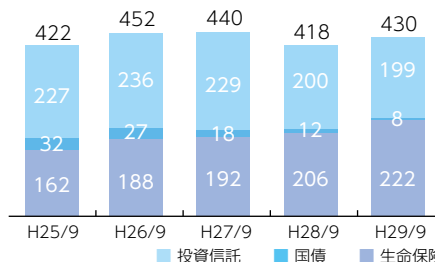
預かり資産

430億円

預かり資産残高は、投資信託および国債の残高は減少しましたが、生命保険残高は終身保険販売が好調に推移したことから増加しました。その結果、前年同期比11億31百万円増加の430億20百万円となりました。

預かり資産期末残高

(単位:億円)



※記載金額は億円単位未満を切り捨てて表示しております。

経常利益

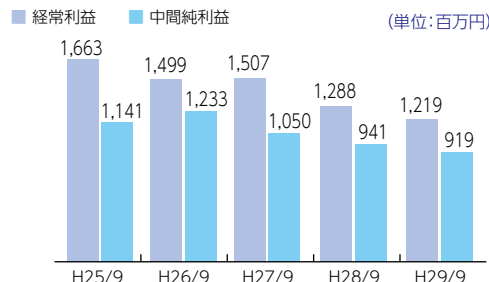
12億円

経常利益は、貸出金利息が増加しましたが、役務取引等費用や営業経費が増加したことなどにより、前年同期比69百万円減少の12億19百万円となりました。中間純利益は、前年同期比22百万円減少の9億19百万円となりました。

中間純利益

9億円

経常利益・中間純利益

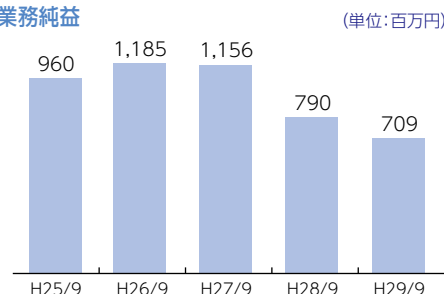


コア業務純益

7億円

コア業務純益は、貸出金利息の増加や預金利息の減少などによって資金利益が増加したものの、役務取引等利益の減少や経費の増加などにより、前年同期比81百万円減少の7億9百万円となりました。

コア業務純益

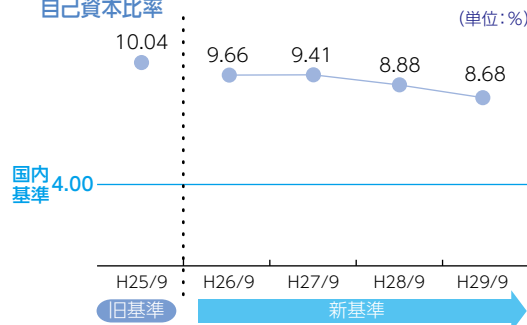


自己資本比率

8.68%

自己資本比率は、利益を積み上げましたが、貸出金が増加したことから前年同期比0.20ポイント低下の8.68%となりました。国内基準の4%を上回っており、安定した経営基盤を確保しています。

自己資本比率



用語解説

■コア業務純益

預金や貸出金、為替業務などであげた利益(業務純益)から「一般貸倒引当金繰入額」や「国債等債券損益」など、一時的な要因を除いたものがコア業務純益となります。銀行の本来の業務から得られる利益を示すものです。

■自己資本比率

資産に対する自己資本の割合を示すもので、金融機関の財務内容の健全性を判断する重要な指標となっています。現在、当行のように海外に店舗を持たない銀行においては、その数値が4%以上であることが求められています。

第71期中間財務諸表(単体)

■ 中間貸借対照表 (平成29年9月30日)

(単位:百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	51,106
コールローン	364
有価証券	146,018
貸出金	474,115
外国為替	781
その他資産	4,236
有形固定資産	10,101
無形固定資産	845
前払年金費用	14
支払承諾見返	1,232
貸倒引当金	△ 2,317
資産の部合計	686,500
(負債の部)	
預金	638,842
その他負債	2,188
賞与引当金	492
退職給付引当金	587
役員退職慰労引当金	131
睡眠預金払戻損失引当金	29
偶発損失引当金	48
繰延税金負債	924
支払承諾	1,232
負債の部合計	644,477
(純資産の部)	
資本金	4,537
資本剰余金	3,219
利益剰余金	29,771
自己株式	△ 23
株主資本合計	37,504
その他有価証券評価差額金	4,518
評価・換算差額等合計	4,518
純資産の部合計	42,023
負債及び純資産の部合計	686,500

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 中間損益計算書 (平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
経常収益	6,569
資金運用収益	5,291
うち貸出金利息	4,713
うち有価証券利息配当金	560
役員取引等収益	638
その他業務収益	203
その他経常収益	436
経常費用	5,349
資金調達費用	178
うち預金利息	189
役員取引等費用	602
その他業務費用	2
営業経費	4,479
その他経常費用	86
経常利益	1,219
特別損失	26
固定資産処分損	8
減損損失	18
税引前中間純利益	1,193
法人税、住民税及び事業税	223
法人税等調整額	51
法人税等合計	274
中間純利益	919

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第71期中間財務諸表(連結)

■ 中間連結貸借対照表 (平成29年9月30日)

(単位:百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	51,106
コールローン及び買入手形	364
有価証券	145,934
貸出金	474,115
外国為替	781
その他資産	4,249
有形固定資産	10,102
無形固定資産	847
退職給付に係る資産	282
繰延税金資産	2
支払承諾見返	1,232
貸倒引当金	△ 2,317
資産の部合計	686,701
(負債の部)	
預金	638,698
その他負債	2,179
賞与引当金	496
退職給付に係る負債	679
役員退職慰労引当金	131
睡眠預金戻戻損失引当金	29
利息返還損失引当金	12
偶発損失引当金	48
繰延税金負債	976
支払承諾	1,232
負債の部合計	644,485
(純資産の部)	
資本金	4,537
資本剰余金	3,219
利益剰余金	29,815
自己株式	△ 23
株主資本合計	37,548
その他有価証券評価差額金	4,518
退職給付に係る調整累計額	123
その他の包括利益累計額合計	4,641
非支配株主持分	26
純資産の部合計	42,216
負債及び純資産の部合計	686,701

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 中間連結損益計算書 (平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
経常収益	
資金運用収益	5,291
うち貸出金利息	4,713
うち有価証券利息配当金	560
役員取引等収益	664
その他業務収益	203
その他経常収益	432
経常費用	5,372
資金調達費用	178
うち預金利息	189
役員取引等費用	604
その他業務費用	2
営業経費	4,478
その他経常費用	108
経常利益	1,219
特別損失	26
固定資産処分損	8
減損損失	18
税金等調整前中間純利益	1,193
法人税・住民税及び事業税	223
法人税等調整額	52
法人税等合計	275
中間純利益	918
非支配株主に帰属する中間純利益	0
親会社株主に帰属する中間純利益	918

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 中間連結包括利益計算書 (平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
中間純利益	918
その他の包括利益	△ 364
その他有価証券評価差額金	△ 341
退職給付に係る調整額	△ 23
中間包括利益	554
親会社株主に係る中間包括利益	554
非支配株主に係る中間包括利益	0

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結される子会社 2社

株式会社海邦総研

かいぎんカード株式会社

役員 (平成29年9月30日現在)

代表取締役頭取	うえ	ち	えい	ゆう
	上	地	英	由
代表取締役専務	こう	げ	ひで	お
	幸	家	秀	男
常務取締役	かね	しろ	けん	ゆう
	兼	城	賢	雄
常務取締役	あら	かき		じゅん
	新	垣		淳
常務取締役	かき	の	はな	みつ
	垣		花	充
取締役	にい	ざき	かつ	ひこ
	新	崎	勝	彦
取締役	い	は	とし	ゆき
	伊	波	寿	之
取締役	ひ	が	り	か
	比	嘉	梨	香
常勤監査役	や	ぎ	のり	ひろ
	屋	宜	宣	宏
監査役	か	で	よし	お
	嘉	手	刈	義
監査役	おお	みね		みつる
	大	嶺		満

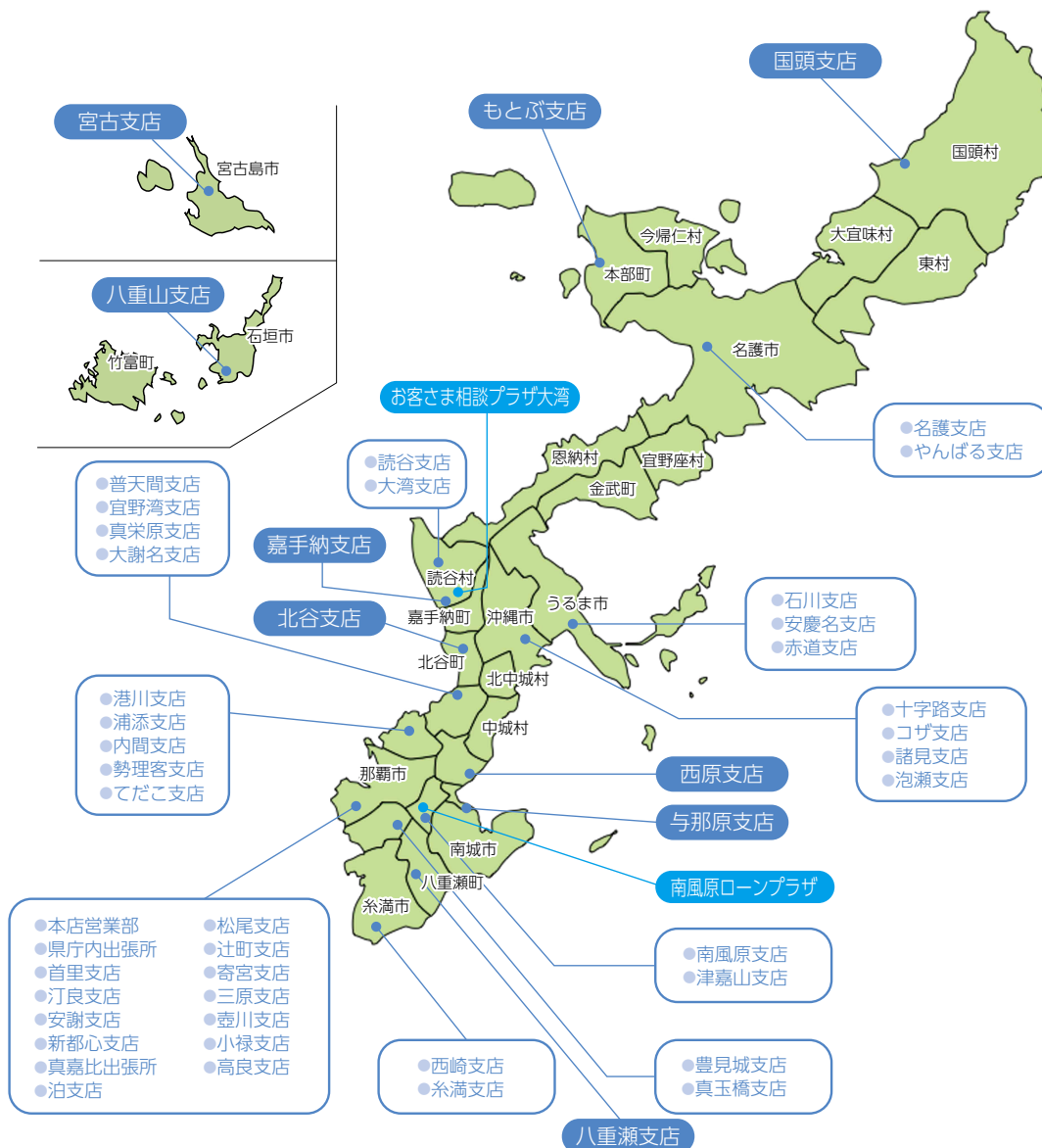
(注)取締役 比嘉 梨香は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

(注)監査役 嘉手刈 義男及び監査役 大嶺 満は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式のご案内 (平成29年9月30日現在)

決算日	毎年3月31日に決算を行います。
定時株主総会	毎年決算日の翌日から3ヶ月以内に開催いたします。
配当金支払	利益配当金は毎年3月31日現在の株主名簿に記載の株主または登録質権者に定時株主総会終了後、ご指定の方法によりお支払いいたします。 また、中間配当を行う場合は取締役会の決議により、9月30日現在の株主名簿に記載された株主または登録質権者に対しお支払いいたします。 なお、配当金のお受取りには、お近くの当行本支店の預金口座への振込をご指定くださいますと速くて便利です。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
同取次所	三井住友信託銀行株式会社 全国本(各)支店
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)
株式取扱手数料	株式名義書換…無料 不所持申出株券の発行または返還…株券1枚につき300円 新株券交付…株券1枚につき300円

50 店舗 (うち出張所 2 店舗) 2 プラザ



南風原ローンプラザ：☎0120-07-4780

お客さま相談プラザ大湾：☎0120-61-8560

<https://www.kaiho-bank.co.jp>

平成29年12月発行

株式会社 沖縄海邦銀行 総合企画部

〒900-8686 沖縄県那覇市久茂地2-9-12 TEL098-867-2112

Beyond the Bank

あなたの明日へ



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた
見やすいデザインの文字を採用しています。